

二酸化塩素系化合物を主成分とした除菌、消毒剤のネコカリシウイルスに対する抗ウイルス効果

NPO 法人 バイオメディカルサイエンス研究会

目的：二酸化塩素系化合物を主成分とした除菌、消毒剤のネコカリシウイルスに対する効果調べる。

試験材料：

- 1) ウイルス：ネコカリシウイルス F-9 株
- 2) 被験資料：二酸化塩素系化合物：HHP-211106

試験方法：

ウイルスと被験資料を 1 : 9 の割合で混合し、0 分、30 秒、5 分後に混合液を採取してブランク試験に供した。反応の停止には 1% チオ硫酸 Na を 50 μ L 使用した。ブランク試験は定法による。

結果

下表の結果を得た。

		ウイルス量(0.1mL)	備考
0 分	対照	10^7	
	試験品	9.3×10^6	
30 秒	対照	1.05×10^7	
	試験品	1.03×10^6	
5 分	対照	1.09×10^7	
	試験品	<10	

被験剤はネコカリシウイルスを 30 秒処理で 1/1000 に、5 分処理で検出限界以下に不活化した。